

(別紙4(2))

事業所名 アイランドジー・アイ小田グループホーム

作成日: 平成 26年 5月 3日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	地域推進会議の開催ができていない。	せめて年4回は開催する。		0ヶ月
2	26	介護計画策定及び見直しについて、チームのカンファでつくり、ご家族の承認を頂いていた。しかし、この度ご家族からのアンケートによって計画内要についてはホームからの説明は受けているものの、事前相談や事前承認が不十分であったことに気が付いた。不信感にはなっていないが、やはりその都度、まず家族への相談や承認といった手順を徹底していなかった。	介護計画の策定、見直しについては、職員のみでまとめないこと。「家族と共に創りあげる作業を設ける」ように徹底する。	カンファレンスの都度、課題に対してご家族に事前或いは、事後速やかな連絡をとること。 また、その際「・・・になりました。」という報告の伝え方は慎重、「・・・は〇〇のようにしていきたいのですが、如何ですか?」というように、本人だけでなく家族の意思も尊重することを徹底する。	3ヶ月
3	54	今の居室はまるでショートステイ施設の居室と大差ない。殺風景である。3年程度になるも、大きな変化はない。 ご家族には、家具、写真、想いである品々、何でも結構、大いに持ち込んで頂きたい、と伝えてはいるものの、満足のいく対応は頂けていない。	まず、1部屋から達成したい。これを手本とし、年内中に大方の部屋を改造したい。	事あるごとにご家族に伝えていく。ご家族の意識改革が必要である。家族にとっては『仮住まい』の認識。本人にとっては『仮住まいであっても数年間である。搬入搬出は手間でも、ご家庭にいた頃のような生活感あふれる部屋作りは欠かせない』ということの不一致が原因である。 また、必須アイテムのタンスや飾り棚などは引越しの手間が障害になっているので、ホーム軽トラックで職員が自宅へ取りに伺うことも伝える。	12ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。